

しあわせ メッセージ
幸福の手紙 審査総評

- 今回の応募作品は、家族といるとき、友人といるときが幸せという作品が多く、一人では生きて行くことが難しいということが、誰の心の中にもあるということが表れている様に思えました。内容が毎年毎年向上していて、選定するのがとても困難と思います。精一杯考え選びました。
- 幸福を感じるのは、各々違いますが、家族に関する事、仕事のやりがい、部活、友達、自然環境、その他、それぞれの幸福感が書かれ素晴らしいものが、沢山あったと思います。日常生活の中で、当たり前である事に幸福を改めて感じ得た作品も多かったと感じました。家族愛等も多かったように思いました。
- 「幸福の手紙」にご応募していただいた皆様大変ありがとうございました。福祉の世界に入って初めて親に感謝し自分に気づいたことがたくさん感じとっていただいた文章が多かったと思います。
人生一度きりしかありません。時間は二度と取り戻せません。
幸福は共通の願いであり人生の目的とも言えます。
“しあわせはいつも自分のところが決めることです”
- 若い世代が多いせいか食事、健康、家族に関する内容が多かった。
世代を広げて集めるとより多様な内容が出てくるのでは？
内容が似たよったものが多かったので、むずかしい審査でした。
- 幸せって日常の中にある些細な喜びに目を向ける事により感じられるものです。作品は甲乙つけがたく私の印象に残ったものを選択致しました。
幸せは、心のあり方しだいで見つけられるものですね。
- とても素晴らしい幸福のメッセージがたくさんあり、10点に絞るのに大変苦労しました。
応募作品からたくさんの感動を頂きました。
ありがとうございました。
- 「幸せって何だっけ？何だっけ？」 1986（昭和62）年こんな歌が流行りました。
人それぞれの価値観の相違により、幸せに対する感じ方も実に様々だと感じました。
「家族と一緒に過ごす・何かをする」ことに幸せを感じるメッセージが多かったように思います。これは、当たり前だと思っけていても、家族全員が揃い、何かをすることが実際には厳しく、現実的には難しい世相を反映しているように思います。改めて家族とは何かを考える機会を頂きました。

また、何気ない日常生活の中に幸せを見出す方も多かったように思います。それには物質的な豊かさだけでなく、心（感性）の豊かさを重要視しているからだと思います。幸せの「青い鳥」は自分自身の心の中にあること、小さなことでも幸せを感じる豊かな心をこれからも育みたいと思います。心温まるお手紙をありがとうございました。またたくさんの幸せをありがとうございました。

- ちょっとした出来事からたくさんのことを学ぶ多感さがあり、それを受けて丁寧に日々を刻んでいくことを誓う謙虚な生き方が大切なことだと思います。生かされていることへの感謝の情景が浮かぶ文章を選ぶ基準としました。
- 家族と過ごす何気ない日常に幸せを感じている作品が大半を占めていました。289 作品の中から、自分の幸せが人の幸せにつながるような作品や今の幸せが未来につながるような作品を選びました。一般部門として 9, 19, 78, 110, 250 の 5 作品を選びました。留学生部門として 24 もよかったのですが 37, 49 の 2 作品を選びました。学生部門として 107, 114, 137 もよかったのですが、139, 204, 208 の 3 作品を選びました。